



地下500mで火災！ __西日本防災システム

2019 03 10

NBS 119

日本原子力研究開発機構は3月8日、岐阜県瑞浪市の瑞浪超深地層研究所の地下500mにある研究坑道で**火災**があったと発表しました。
作業員が現場の約40m上部で配管の設置作業中に、電動ドライバーのバッテリーを誤って落とし、衝撃で発火したとみられるそうです。この火災によるけが人はなかったようです。

日本原子力研究開発機構によりますと、8日午後4時頃、坑道の監視カメラで火災を確認し、作業員が初期消火。到着した消防隊が同4時50分頃鎮火を確認したようです。
この施設では原発から出る高レベル放射性廃棄物を地下深くに埋める**地層処分**による地質や地下水への影響を研究しているんだそうです。
けが人なども、施設にも影響は無く、良かったのですが、原因は作業員の単純なミスとのことです。どうか安全に確実に作業は進めて頂きたいものです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 